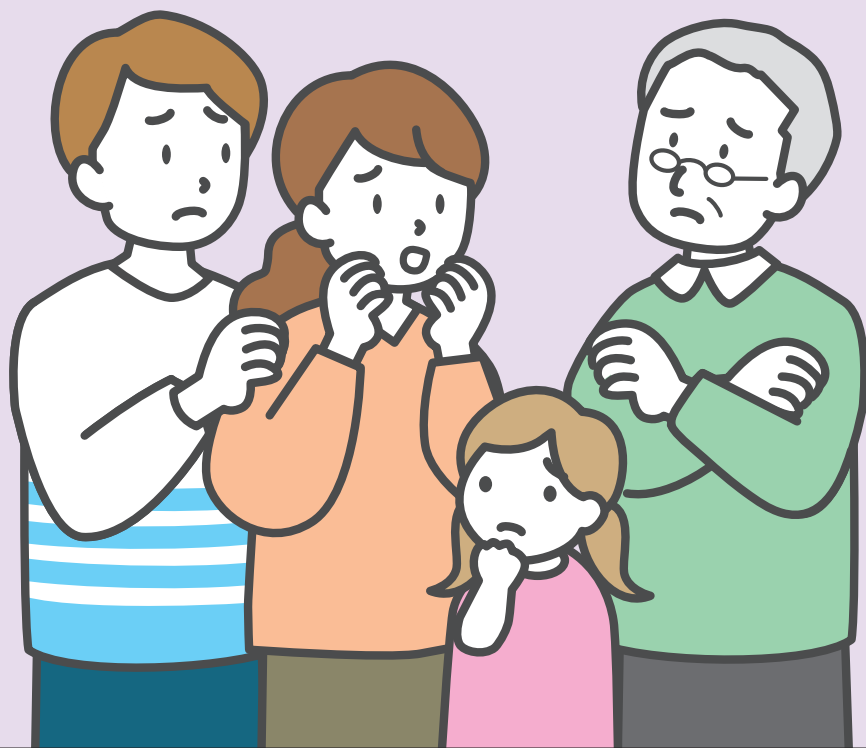


マイコプラズマ



監修：倉敷中央病院
副院長兼呼吸器内科主任部長
石田 直 先生



もくじ

- Q1 マイコプラズマとは？
- Q2 主な症状は？
- Q3 流行時期は？
- Q4 潜伏期間は？
- Q5 感染経路は？
- Q6 検査方法は？
- Q7 どのような治療方法がありますか？
- Q8 マイコプラズマに感染しないためには？
- Q9 学校や職場はいつから行けますか？



Q₁ マイコプラズマとは？

A₁ 細胞壁を持たない微小な細菌の一種で、ヒトに病気を起こすのは肺炎マイコプラズマ (*Mycoplasma pneumoniae*) という菌種です。

Q₂ 主な症状は？

A₂ 初めは発熱や全身の倦怠感(だるさ)、頭痛などの症状がみられます。咳は少し遅れて始まることが多く、熱が下がった後も長く続く(3～4週間)ことがあります。多くの人はマイコプラズマに感染しても気管支炎ですみ、軽い症状が続きますが、一部の人は肺炎となり、重症化することもあります。また、マイコプラズマ肺炎に対する免疫は一生続くものではなく、再感染もよく見られます。



Q₃ 流行時期は？

A₃ 従来は秋から春にかけて増加し、4年周期でオリンピックのある年に大きな流行を繰り返してきました。近年この傾向は崩れ、特に新型コロナウイルスの流行以降は報告数が減少しています。

Q₄ 潜伏期間は？

A₄ 感染してから発症するまでの潜伏期間は比較的長く、一般的に感染後2～3週間とされています。気道粘液へのマイコプラズマの排出は初発症状の前から見られます。

Q₅ 感染経路は？

A₅ 咳やくしゃみ、会話などによって空気中に飛び散った病原体を多くの人々が吸入することにより感染する「飛沫感染」と、患者と身近で接触することにより感染する「接触感染」があります。

感染には濃厚接触が必要と考えられており、保育施設、幼稚園、学校などの施設内や家庭で感染伝播はみられますが、流行拡大の速度は遅いと考えられています。



Q₆ 検査方法は？

A₆ 近年は遺伝子検査や迅速抗原検査キットが普及しています。

迅速抗原検査キットの場合、マイコプラズマ感染の疑いがある人ののど（咽頭）から検体を採取して検査を行います。検査結果は15分程度でわかります。



Q7 どのような治療方法がありますか？

A7 マイコプラズマに効果のある抗菌薬による治療が基本です。外来治療が主ですが、重症化した場合には、入院して専門的な治療が行われます。長引く咳などの症状があるときは、医療機関で診察を受けるようにしましょう。

Q8 マイコプラズマに感染しないためには？

A8 ワクチンなどの予防方法はありません。感染経路はかぜやインフルエンザと同じです。で、普段から、手洗いをするのが大切です。また、患者の咳から感染しますので、咳の症状がある場合には、マスクを着用するなど咳エチケットを守ってください。

Q₉ 学校や職場はいつから行けますか？

A₉ マイコプラズマ感染症は学校保健安全法施行規則において出席停止期間の明確な規定はなく、症状が改善し、全身状態が良ければ登校（園）が可能です。一般的には、解熱してから2日程度たてば、日常生活に支障がないと考えられています。





2024 年 11 月作成
QM2404001
(1007161) HK